



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

A close-up photograph of a black plastic seedling tray filled with dark soil. Several small, bright green seedlings are visible, each in its own compartment. The lighting is soft, highlighting the texture of the soil and the delicate structure of the young plants.

**BUSINESS REPORT**

2009年4月1日 ~ 2009年9月30日

# 第11期 中間報告書

トレイダースホールディングス 株式会社

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援・ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第11期第2四半期連結累計期間(2009年4月1日～2009年9月30日)の事業概況と決算についてご報告いたしますので、ご高覧くださいませようお願い申し上げます。

当社グループは、創業当初から日経225先物・オプション取引およびFX(外国為替証拠金取引)を主力商品として業容を拡大し、個人投資家に最適な投資環境を提供することで同市場の発展に貢献してまいりました。

当社グループは、今後も株主の皆様のご意見を真摯に受け止め、グループ経営並びに各事業活動に反映させていくとともに、適切なIR活動を推進することで、皆様のご理解とご支持をいただけるよう全役員一丸となって努力を積み重ねてまいります。

今後のご指導・ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

トレイダーズ  
ホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社長



## Contents

株主の皆様へ	P01-02
事業別の概況	P03
決算ハイライト	P04
連結財務諸表	P05-06
トレイダーズ証券の取り組み	P07-08
株主アンケート集計報告	P09
株式の状況/会社概要	P10

## 2010年3月期第2四半期の総括

### 証券取引事業について

当該事業におきましては、商品性強化、顧客の取引機会拡大の一環として、日本の個人投資家が国内に居ながら日本時間の夜間に海外で起こった出来事や海外市場の動向にリアルタイムで対処することを可能にする海外指数先物取引新サービス[GIT(Global Index Trade)]の開発に取り組みでまいりました(2009年10月2日より、『GIT』第1弾として、CME®(シカゴ・マーカンタイル取引所)に上場している日経225先物(円建)の取扱いを開始しました)。

当第2四半期連結累計期間におきましては、金融商品仲介業者を経由した取引は増加したものの、日経225先物、日経225miniの取引高増加のための手数料施策等が当該事業者間の競争が激化したこと等により奏功しなかったことなどにより、証券取引事業の営業収益は、対前年同期比3.9%増の1,380百万円にとどまりました。

### 外国為替取引事業について

当該事業におきましては、従来、特長の異なる複数の商品ラインナップを提供することで、取引やサービスに対する趣向が違う様々な投資家層に訴求する商品戦略をとってまいりました。しかし、昨今の経済情勢の低迷によって、外国為替証拠金取引に対する個人投資家のニーズ・取引趣向は、従来から旺盛であったスワップ重視の長期的投資スタンスによる円キャリートレード型の取引趣向が大きく減少し、短期間でのアクティブトレードによって投資効率を最大化させる取引趣向が大きく増加しております。

このような状況を踏まえて、当社グループは、2009年3月31日に株式会社EMCOM CONSULTINGと基本合意書を締結し、同社のFX業界において高い実績・トラックレコードを持つ高機能な取引システムをレベニューシェア型ASP方式で導入することで、開発リスク、初期投資額を最小限にとどめながら、顧客ニーズに的確に応える新オンライン取引システム『TRADERS FX』の取引サービス提供を、2009年7月10日より開始しました。また同時に、既存金融商品・サービスの見直しを行い、『NFXプロ』は2009年7月4日をもって、『ネットフォレックス』も2009年8月28日をもって各々取扱いを終了し、外国為替取引事業全体の経営資源の最適配分を図っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、既存金融商品・サービスの取扱い終了に向けて、顧客預り資産、取引高とも縮小方向に向かったことにより、外国為替取引事業の営業収益は、対前年同期比58.3%減の349百万円となりました。

## 今後のトレーダーズグループの 取り組みと方針について

当社は、2009年3月30日開催の臨時株主総会において経営体制を一新し、創業メンバーの復活による強力なリーダーシップ発揮により、機動的な組織へ変革するための経営体制の構築を進めてまいりました。

当社グループは、日経225先物・オプション取引並びに外国為替証拠金取引を軸に事業を展開し、同事業分野において顧客利便性が高い最先端のインターネット取引システムやトレーディングをサポートする付加価値のあるサービス提供を通して、競合他社との差別化を図ってまいります。

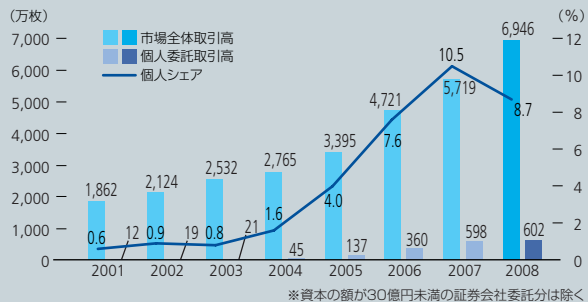
証券取引事業においては、業容拡大が喫緊の課題であり、商品性強化、顧客の取引機会拡大の一環として、『GIT』の取扱いサービスを拡充し、日本の個人投資家が国内に居ながら世界中の主要株価指数先物をお取引いただける環境のご提供を目指してまいります。また、一方で、店舗型販売窓口を持つ金融商品仲介業者との連携を強化し、顧客に対する多面的なコミュニケーションチャンネルを積極活用した営業体制の構築も進め、インターネット型と店舗型の両営業チャンネルの強みを相乗的に拡大させる営業戦略を推進し、収益基盤の増強を図ってまいります。

外国為替取引事業においては、『TRADERS FX』のサービス機能増強により、より安定的な取引システムを提供しつつ、特にアクティブトレーダー層の趣向に合わせた商品性を強化することで、顧客囲い込みを推進し、事業採算性の向上を目指してまいります。

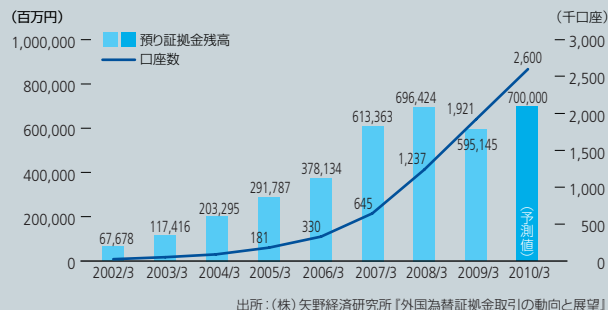
また、当社は、欧米では既に個人投資家の間で広く普及しているシステムトレードが、わが国においても先進的な金融商品取引業者が相次いでシステムトレード関連のサービスを開始したことから、トレード用ソフトウェアが市場に氾濫し、それぞれのニーズに合った良質のものを選ぶことが難しい状況を招いていることに着目し、投資家のニーズに合った金融サービス、トレーディングツールに関する投資助言、情報提供を行うことを目的として、トレーダーズフィナンシャル株式会社を設立いたしました(設立日2009年10月16日)。トレーダーズフィナンシャルにおきましては、本格的なシステムトレード評価会社として、個人投資家に対するコンサルティング、情報提供等を新たな事業分野として特化させることで、当社グループ全体の収益モデルの多様化を図ってまいります。

当社グループの事業環境は、個人投資家層の裾野が広がり、市場規模が拡大する一方で、参入企業の増加による企業間競争の激化や、昨今の経済情勢の悪化と金融不安の影響による個人投資家の投資意欲減退等に伴って、大きく変化しております。当社グループは、業界の先駆者として蓄積したノウハウに基づく商品ラインナップ・サービスを提供し、経営資源を最大限に活かした営業戦略を用いることで、他社との差別化を図り、業界におけるイニシアティブを取り戻すべく事業を展開してまいります。

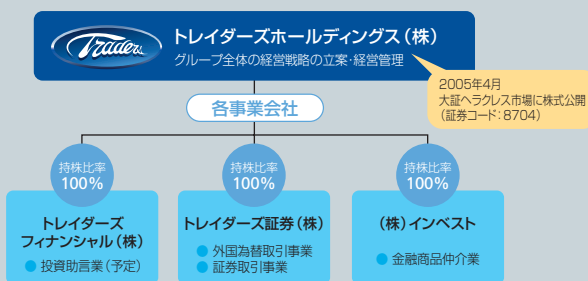
## ● 日経225先物Large: 大証全体取引高と個人シェア



## ● FX (外国為替証拠金取引) 業界全体の預り証拠金残高と口座数



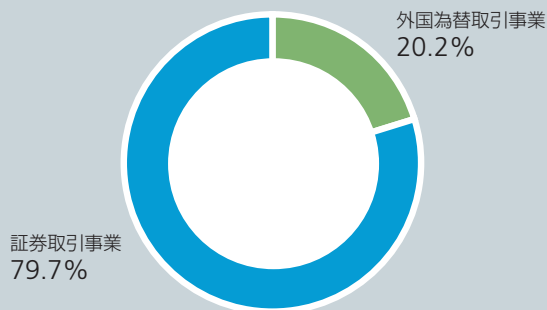
## ● 2010年3月期のグループ構成と事業領域



## 事業別の概況

### 営業収益構成比

(2009年9月30日現在)



## セグメント別営業収益

### 証券取引事業

1,329,265千円  
2008.9

1,380,663千円  
2009.9

### 証券取引事業

証券取引事業におきましては、金融商品仲介業者を經由した取引は増加したものの、日経225先物、日経225miniの取引高増加のための手数料施策等が当該事業者間の競争が激化したこと等により奏功しなかったことなどにより、営業収益は1,380,663千円(対前年同期比3.9%増 うち受入手数料1,287,133千円、金融収益66,105千円)にとどまりました。一方、金融商品仲介業者を經由した取引の増加に伴う支払手数料の増加などにより営業費用が増加し、営業損失は136,496千円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間末における顧客口座数は28,354口座(対前年同期比35.7%増)、預り資産は29,684,831千円(対前年同期比22.8%増)となりました。

### 外国為替取引事業

837,760千円  
2008.9

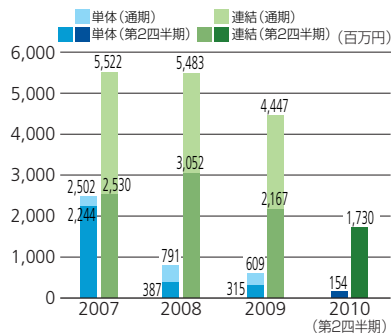
349,543千円  
2009.9

### 外国為替取引事業

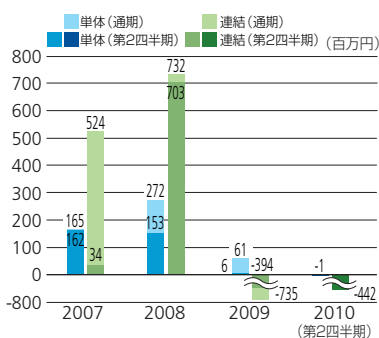
外国為替取引事業におきましては、既存金融商品・サービスの取扱い終了に向けて、顧客預り資産、取引高とも縮小方向に向かったことにより、営業収益は349,543千円(対前年同期比58.3%減 うち受入手数料35,337千円、トレーディング損益312,188千円)、営業損失は283,898千円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間末における顧客口座数は35,117口座(対前年同期比25.2%増)となりましたが、預り資産は『ネットフォレックス』『NFXプロ』のサービス終了に伴う預り資産の返還により、1,824,490千円(対前年同期比86.9%減)となりました。

## 決算ハイライト

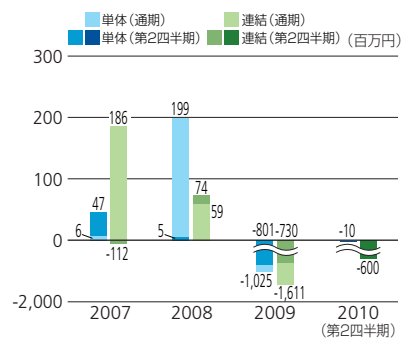
### ■ 営業収益



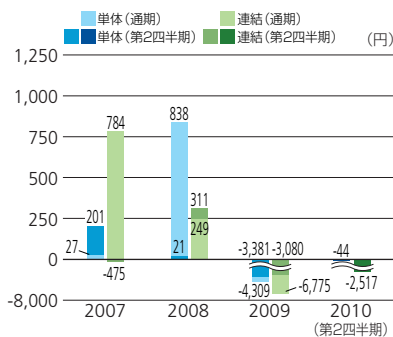
### ■ 経常利益



### ■ 四半期(当期)純利益

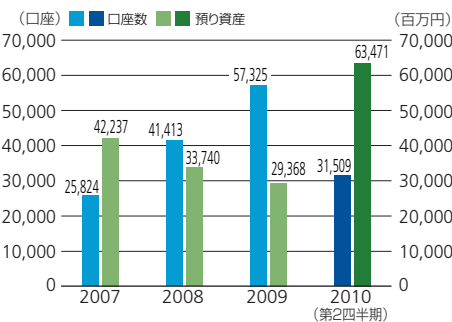


### ■ 1株当たり四半期(当期)純利益

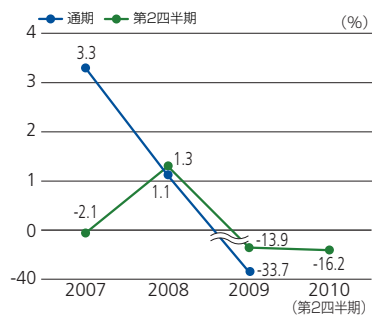


### ■ 口座数/預り資産

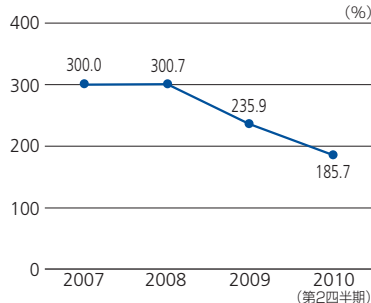
(預り資産は有価証券の保護預り残高を除いて記載しております。)



### ■ 自己資本利益率



### ■ 自己資本規制比率 (トレーダーズ証券(株))



#### 自己資本規制比率

金融商品取引業者の財務の健全性を測る重要な指標として「自己資本規制比率」があります。「自己資本規制比率」とは、その自己資本から固定的な資産を控除した「固定化されていない自己資本の額」を、将来発生し得る各種の危険に相当する「リスク相当額」で除して算出する指標です。企業の潜在的リスクの合計額に対して、自己資本を源泉とするキャッシュ・フローを何倍保有しているか、を示しており、金融商品取引業者は、自己資本規制比率が120%を下回ることはないようにしなければなりません。

#### 自己資本規制比率の算出方法

自己資本規制比率の算出については「金融商品取引法」および「金融商品取引業等に関する内閣府令」等に定められていますが、その概要は以下のとおりとなっております。

$$\begin{aligned} \text{自己資本規制比率}(\%) &= \frac{\text{固定化されていない自己資本の額}}{\text{リスク相当額}} \times 100 \\ &= \frac{\text{基本的項目(注1)+補完的項目(注2)-控除資産(注3)}}{\text{市場リスク相当額(注4)+取引先リスク相当額(注5)+基礎的リスク相当額(注6)}} \times 100 \end{aligned}$$

(注1) 資本金、資本剰余金、利益剰余金、その他有価証券評価差額金(−の場合)、自己株式等。(注2) 引当金、劣後債務、評価差額金(−の場合)。(注3) 固定的資産(会計上の固定資産とは異なる)。(注4) 保有する有価証券等の価格の変動等により発生するリスクに相当する額。(注5) 取引の相手方の契約不履行等により発生するリスクに相当する額。(注6) 事務処理ミス等日常的な業務遂行上発生するリスクに相当する額。



## 四半期連結貸借対照表〈要旨〉

(単位：千円)

科 目	期 別	当第2四半期 (2009年 9月30日現在)	前 期 (2009年 3月31日現在)
(資産の部)			
流 動 資 産		24,232,312	27,028,944
現金及び預金		2,042,275	3,473,256
預 託 金		6,327,000	7,924,000
トレーディング商品		1,189	125,072
信用取引資産		5,223,580	3,074,971
短期差入保証金		10,352,114	12,165,318
そ の 他		322,192	278,903
貸倒引当金		△36,039	△12,577
固 定 資 産		1,096,283	997,719
有形固定資産		443,320	281,046
無形固定資産		178,670	250,624
投資その他の資産		474,292	466,048
投資有価証券		198,450	192,187
長期立替金		395,528	425,231
そ の 他		503,061	501,015
貸倒引当金		△622,747	△652,386
資 産 合 計		25,328,596	28,026,664

科 目	期 別	当第2四半期 (2009年 9月30日現在)	前 期 (2009年 3月31日現在)
(負債の部)			
流 動 負 債		21,476,862	23,530,945
トレーディング商品		—	3,320
信用取引負債		5,088,586	3,085,475
預 り 金		5,485,880	5,640,490
受入保証金		9,817,148	13,623,328
短期借入金		550,000	700,000
リース債務		123,861	130,528
未払法人税等		7,738	7,831
事業整理損失引当金		41,103	68,000
そ の 他		362,542	271,971
固 定 負 債		349,981	405,995
リース債務		318,722	392,918
そ の 他		31,258	13,076
特別法上の準備金		90,173	84,501
金融商品取引責任準備金		90,173	84,501
負 債 合 計		21,917,017	24,021,442
(純資産の部)			
株 主 資 本		3,396,606	3,997,190
評価・換算差額等		3,266	△1,689
新株予約権		11,707	9,720
純 資 産 合 計		3,411,579	4,005,221
負 債 ・ 純 資 産 合 計		25,328,596	28,026,664

注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

### 解説-1

#### 受入保証金と短期差入保証金の減少について

外国為替取引事業における「ネットフォレックス」「NFXプロ」のサービス終了に伴い顧客に対して預り資産の返還を行ったことにより受入保証金が大きく減少し、これにより短期差入保証金も大きく減少いたしました。

### 解説-2

#### 販売費及び一般管理費について

主に取引関係費、人件費、不動産関係費、事務費等の費用が計上されております。さらに取引関係費の中には、金融商品仲介業者に支払う「支払手数料」、日経225先物・オプション取引において大阪証券取引所に支払う「取引所協会費」、システム回線使用料、配送コスト等の「通信費」及び新規顧客の獲得に充当する「広告宣伝費」などが含まれております。

### 解説-3

#### 特別損失の発生について

統合管理システム(顧客情報入力ツール)について、新システム開発を中止したことに伴う固定資産除却損32,228千円を計上したこと、本店移転に伴い使用していた設備の一部除却、撤去・解体工事及び移動等に要する移転費用42,262千円を計上したこと、当社連結子会社であるトレイダーズ証券において、外国為替証拠金システム「ネットフォレックス」のサービスを終了したことに伴い(終了日 2009年8月28日)、同サービスに使用していたソフトウェアについて現時点での資産性を検討した結果、固定資産等減損損失50,083千円、リース解約違約金18,388千円、固定資産除却損1,880千円を計上したことなどにより特別損失156,479千円を計上いたしました。

## 四半期連結損益計算書〈要旨〉

(単位：千円)

科 目	期 別	当第2四半期 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前第2四半期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
営業収益		1,730,207	2,167,026
受入手数料		1,322,470	1,422,417
トレーディング損益		312,188	704,163
金融収益		67,634	40,445
その他		27,914	-
金融費用		45,342	50,086
純営業収益		1,684,864	2,116,939
販売費及び一般管理費		2,104,511	2,568,144
営業利益(△損失)		△419,647	△451,204
営業外収益		4,104	62,247
営業外費用		26,649	5,346
経常利益(△損失)		△442,191	△394,303
特別利益		-	98,269
関係会社株式売却益		-	97,298
その他		-	970
特別損失		156,479	366,279
固定資産除却損		48,462	-
金融商品取引責任準備金繰入れ		6,002	8,224
貸倒引当金繰入額		-	227,154
減損損失		50,083	95,400
解約違約金		18,388	-
その他		33,542	35,500
税金等調整前四半期純利益(△損失)		△598,671	△662,313
法人税、住民税及び事業税		1,913	53,859
法人税等調整額		-	14,485
四半期純利益(△損失)		△600,584	△730,658

注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書〈要旨〉

(単位：千円)

科 目	期 別	当第2四半期 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前第2四半期 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△1,005,972	1,011,699
投資活動によるキャッシュ・フロー		△206,481	△79,328
財務活動によるキャッシュ・フロー		△217,793	△428,239
現金及び現金同等物に係る換算差額		△733	8,015
現金及び現金同等物の増減額		△1,430,980	512,146
現金及び現金同等物の期首残高		3,473,256	6,417,375
資金の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額		-	△2,109,533
現金及び現金同等物の四半期末残高		2,042,275	4,819,988

注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## IR INFORMATION IR情報ご紹介

詳しく経営状況についてお知りになりたい方は  
当社ホームページ「IRイベント」をご覧ください。  
当社へのご理解を深めていただけるように  
決算説明会資料や個人投資家、アナリスト向け説明会資料など  
を掲載しております。

<http://www.tradershd.com/event/>



証券取引事業

「GIT(海外指数先物取引)」のサービス開始

「自分の投資したい国にいつでも投資できる環境」を個人投資家の皆様にご提供すべく、トレイダーズ証券は2009年10月にGIT(海外指数先物取引)のサービスを開始しました。経済成長著しい国や世界から注目を集めている国などに、チャンス逃すことなく投資できるのがGITの魅力です。GITで世界各国の株価指数を取引できる環境を整えば、FX同様ほぼ24時間、世界の株価指数をお取引いただけるようになります。GIT取扱商品の第1弾としてCME®日経225先物(円建)の取扱いを開始しました。

GITとは？

日本の個人投資家と世界の市場を結ぶ金融商品です。

世界の市場に上場しているインデックス(株価指数)を取引することができます。

第1弾としてCME®(シカゴ・マーカンタイル取引所)に上場している日経225先物(円建)の取扱いを開始しました。

これにより当社の証券の主力商品である日経225先物取引が、昼間だけではなく夜間での取引が可能となります。



特長①

好きなときに自分の投資したい国に投資できます。



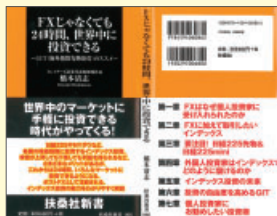
特長②

「ワンクリック注文」「自由自在なカスタマイズ画面」など機関投資家と同じ取引環境を体感できます。



GIT(海外指数先物取引)の取引システム  
「GITスタジアム」

INFORMATION お知らせ



トレイダーズ証券代表取締役社長である橋本清志による著書が全国書店にて発売されております。

2009年11月2日

「FXじゃなくても24時間、世界中に投資できる  
～GIT(海外指数先物取引)のススメ～」

(価格：税込714円、出版社：扶桑社)



2009年7月より、FXの新オンライン取引システム「TRADERS FX」のサービスを開始しました。「TRADERS FX」はスピードと快適な操作性を兼ね備えた取引システムです。ワンクリック注文やクイック決済、複数決済など豊富な注文方法をご用意しています。また1つの画面において表示したいウィンドウを選択し、自由自在にカスタマイズをすることが可能です。MacでもWindowsでも変わらぬ機能でお取引いただける環境を実現しています。

3つの特長



業界トップクラスの取引条件

より多くのチャンスをつかむために、業界トップクラスの取引条件を提供しております。

例えば

● 選べるレバレッジ 1倍～400倍

1倍	5倍	10倍	15倍	20倍	25倍	33倍	40倍
50倍	100倍	150倍	200倍	250倍	300倍	350倍	400倍

※通貨ペアにより選べるレバレッジが異なります。  
※ZARは20倍まで(1倍、5倍、10倍、15倍、20倍)



安心の取引マネジメント

実績豊富なトレーダーズ証券だからこそ、お客様に安心してお取引いただける環境を重視しました。

例えば

● 場所を選ばない取引環境(家、会社、携帯電話)



高機能な取引システム

激動のマーケットで勝ち抜くために、充実した機能を持った取引ツールをご用意しております。

例えば

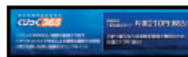
● カスタマイズ可能な取引画面



- インストール不要!
- カスタマイズOK!
- シンプル&高性能!

詳しくはトレーダーズ証券ホームページへ

<http://www.traderssec.com/>





## ■株式の状況 (2009年9月30日現在)

発行可能株式総数	803,400株
発行済株式の総数	238,704株
株主数	8,195名
大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
グロードキャピタル株式会社	63,000株	26.39%
金丸貴行	17,732	7.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,700	4.90
金丸多賀	11,523	4.82
高木一登	6,867	2.87
ロンバーオディエダリエヘンチアンドシー	4,950	2.07
新妻正幸	2,976	1.24
松井証券株式会社	2,166	0.90
株式会社サステイナブル・インベスター	1,996	0.83
井上モト子	1,600	0.67

## ■会社概要 (2009年9月30日現在)

会社名 / トレイダーズホールディングス株式会社  
 英訳名 / TRADERS HOLDINGS CO., LTD.  
 所在地 / 〒106-6034

東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー34階

設立年月日 / 1999年11月5日

資本金 / 2,837,565千円

代表者名 / 代表取締役会長兼社長 金丸 貴行

従業員数 / 連結71名 単体6名

主な取引金融機関 / 三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行  
 三井住友銀行 りそな銀行 みずほ銀行

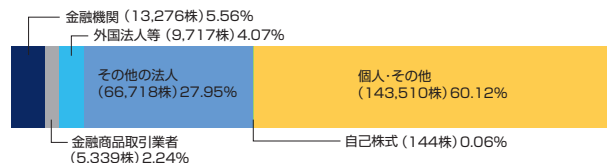
主な子会社 / トレイダーズ証券株式会社

株式会社インベスト

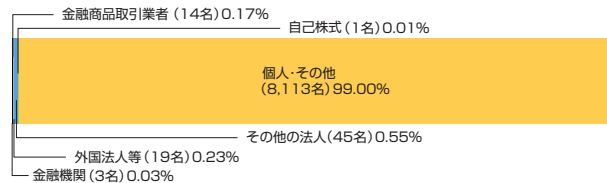
トレイダーズフィナンシャル株式会社

※2009年10月16日設立

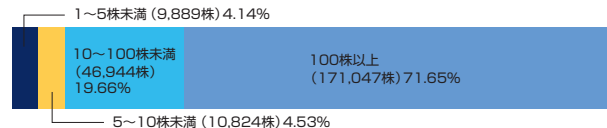
## 所有者別株式分布 (株式数)



## 所有者別株主分布 (株主数)



## 所有株数別株式分布 (株式数)



## ■役員構成 (2009年9月30日現在)

### 取締役

代表取締役会長兼社長	金丸 貴行
取締役	金丸 勲
取締役	膳 孝之助

### 監査役

常勤監査役	角田 正英
監査役 (非常勤)	大網 会士 (公認会計士)
監査役 (非常勤)	渡邊 剛 (弁護士)
監査役 (非常勤)	會田 健一 (公認会計士)

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	(ご注意)
期末配当金受領株主確定日	3月31日	1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
中間配当金受領株主確定日	9月30日	2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
定時株主総会	毎年6月	3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)	
上 場 取 引 所	大阪証券取引所 ヘラクレス市場	
公 告 の 方 法	電子公告 公告掲載URL <a href="http://www.tradershd.com/">http://www.tradershd.com/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)	

詳しくは、当社ホームページをご覧ください。

<http://www.tradershd.com/stock/info.html>

### 【株式に関するお手続きについて】

#### 特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取(買増)請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定(※)</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	<b>【手続き書類のご請求方法】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479 (通話料無料)</li> <li>・インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></li> </ul>

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

#### 証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

## トレーダーズホールディングス 株式会社

〒106-6034 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー34階 TEL.03-5114-0344 (代表)  
<http://www.tradershd.com/>

### ホームページのご紹介



<http://www.tradershd.com/>

こちらのサービスも是非ご利用ください。

- 1 ディア・ネットサービス  
-IRメール配信サービスのご案内-
- 2 投資家アンケート
- 3 プレスリリース

大和インベスター・リレーションズ発表の「2009年インターネットIRサイト優秀企業580社」に選定

このたび、主要上場企業2,082社のホームページを対象とした大和インベスター・リレーションズ株式会社の「2009年インターネットIRサイト優秀企業580社」(2009年4月24日発表)において、当社ホームページが優秀企業に選定されました!

詳しくはこちら

<http://www.tradershd.com/press/>

